



# 卓 話



## 「ビジネスで児童労働問題に挑む」

カンボジアかものはしプロジェクト

村田 早耶香氏

かものはしプロジェクトで共同代表をしております、村田早耶香と申します。

今日は、カンボジアの子どもたちを取り巻く現状と、私たちかものはしプロジェクトの活動の紹介をしたいと思います。



少し私の話をさせていただきます。私は、小さい時から少し特殊な家庭で育ってきました。父親が仕事の都合で東南アジアを周遊し、その時に現地の人に親切にされて、帰国後何か恩返しがしたいと思い、私費留学生の保証人をしていました。その関係で、毎年アジアからの留学生をホームステイで受け入れたり、留学生がよく遊びに来る家庭で育ちました。ですので、私にとっては、日本に居ながら外国が身近な存在になっていました。また、父親から、ご飯の食べ残しをすると、「あなたが残したそのご飯は、アジアやアフリカで食べたいと思ってても食べられなかったご飯なんだよ。」とか、「あなたの月のおこづかいで、タイではあなたと同じ年の中学生が一年間学校に通えるんだよ」とよく言われながら育っていました。そのため、自然と国際協力に興味が出てきて、大学では国際問題を専攻するようになりました。大学で様々な国際問題を学ぶ中で、19歳の大学二年生の時に、児童買春問題と出会います。タイの15歳女の子が、家族のために都会に働きに出て、騙されて売春宿に売られ、エイズで亡くなるという実話を授業の中で聞きました。ミーチャというその少女は、「学校に行って、勉強をしてみたかったな。」と言って亡くなりました。そんなに年の変わらない少女だったので、非常にショックを受けました。彼女と私の違いは、生まれた場所が違うというだけなのに、ただそれだけで未来を選ばずに傷つけられている人がいるということを知って、本当にこんなに酷いことが起きているのかと思い、現場を見に行くことにしました。お金を貯めて、タイとカンボジアに渡りました。

実際に現場に行くと、予想よりもはるかに酷い現状を目の当たりにしました。世界で最も児童買春被害が深刻になっているといわれるカンボジアでは、6歳と12歳の売春宿から保護された姉妹に出会いました。この二人は親の借金の形に取られ、売春宿で強制的に客を取らされていました。嫌がると電気ショックを与えられていたので、腕に沢山の傷があったそうです。非常に幼い子どもまで被害にあっており、8千人~2万人もの子ども達が被害にあっていることを知って、何とかこの状況を変えたいと思い、2002年に仲間と共にかものはしプロジェクトを発足しました。

かものはしプロジェクトは、カンボジアの児童買春・人身売買問題を解決するための活動を行っています。この問題の解決を通し、すべての子どもたちが未来への希望をもって生きられる世界を実現することが、私たちの使命です。

カンボジアの農村では、多くの子どもたちや女性が人身売買の危険にさらされています。時には、ドラッグ漬けにされ、強制的に働かせることもあります。また、タイやマレーシアへの人身売買もあとを絶ちません。一度売春の被害にあってしまうと、彼女たちは、取り返しのつかない肉体的・精神的被害を受けてしまいます。これは人権を侵害する深刻な問題です。

この問題の根本原因は、「貧困」にあります。家計を支えるべき親に仕事がなく、仕方がなく子どもたちが仕事を求めて出稼ぎに行き、いった先が性産業であった、そういった状況にあるのです。私たちは、農村にて彼らが体を売らずとも安心して暮らせるように、職業訓練と雇用を提供する「コミュニティーファクトリー事業」を行っています。具体的には、シェムリアップ州の農村で、い草など現地の素材を使った生活雑貨を手作りする工房を運営しており、現在30名ほどの女性たちが工房で働いています。ここで作った商品を販売して得た利益の一部が、彼女たちの安定的な現金収入となり、経済的に自立した生活をおくることにつながっています。実際に、彼女たちの中には、収入を得たおかげで兄弟や甥が学校に通えるようになったという方も現れてきました。ミッション達成に向けて試行錯誤の日々ではありますが、徐々に成果も見えてきています。近年中に、このコミュニティーファクトリー事業をモデルとして確立し、今後はこの事業を大きく展開

して、一人でも多くの子ども笑顔を守りたいと考えています。

一方、日本では、サポーター事業、IT事業の二本柱でカンボジアでの事業を支えています。サポーター事業では、月々1000円から応援頂く「かものはしサポーター」と、年額10万円からの法人会員を募集しています。また、イベントやWEBを通して、会員の方々に活動報告を行っています。更には、活動の資金を集める

だけでなく、多くの方々が気軽に楽しく国際協力に関わることができるよう、様々な取り組みを行っています。また、IT事業部は、一般企業のWEB制作の一部である、htmlコーディングを行い、かものはしプロジェクト全体の活動資金を創出しています。こうして、カンボジアと日本が一体となり、「笑顔がつながる世界」の実現に向けて、日々尽力しています。